

医労連速報2013秋闘

2013年11月5日 NO.2 東京都台東区入谷1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

< 11.7 全国統一行動アピール(案) >

安全・安心の医療・介護・福祉実現のため、大幅一時金、大幅増員、夜勤規制・労働条件改善の獲得をめざし「11・7全国統一行動」を成功させよう！

組合員のみなさん、本日の「11・7全国統一行動」は、日本医労連の13年秋闘における職場と地域からの「怒り」の全国統一行動日です。全国の仲間が、経営者に対して大幅一時金獲得と増員・夜勤制限、不払い労働一掃など働くルール確立にむけて改善を迫り立ち上がっています。また、国民生活全般への攻撃に暴走する安倍政権に対し、「医療・介護・社会保障をまもれ」「憲法まもれ」「被災者本位の震災復興を」「原発の即時廃止・再稼働反対」「ストップTPP」「オスプレイ配備撤回・米軍基地再編強化反対」などの要求を掲げてたたかっています。

労働者の賃金は1997年をピークに70万円も減り、年収200万円以下の労働者が1000万人を超える状況です。厚生労働省の「毎月勤労統計調査」では、9月の基本給など所定内賃金が0.3%減と16ヵ月連続の減少になっています。所定内賃金は安倍政権になって一度も上がらず、アベノミクスが多くの国民の生活改善につながっていないことは明確です。日本医労連の回答集約でも2000年以降の年間一時金は10年余りで約30万円も減少し、私たちの生活はますます厳しくなっています。

一方で、厚生労働省の「2013年医療経済実態調査」は、2012年度の医療機関の経営状況が前年度に比べ改善傾向と発表しています。増収傾向が判明したことで財務省の診療報酬引き上げ反対に勢いが増すのは必須です。私たちは、生活実態改善と、労働に見合った正当な報酬を堂々と要求し勝ち取ります。

全国統一行動では、ストライキを中心として、退勤時間調査、街頭宣伝や集会、デモ、学習会など多彩な行動が展開されます。賃金・労働条件改善のたたかいは、個人の生活改善に留まらず、冷え込んだ景気を改善し、医療・社会保障まもる運動につながり、国の悪政転換に道を開くものです。安倍首相は来年4月からの消費税8%への増税を表明し、労働法制の改悪も狙っています。2013年秋闘は、労働者と国民の「いのちと暮らしを守る」闘いのスタートです。一時金での昨年実績を下回る回答は断固許さないことを明確にし、最後まで奮闘しましょう。私たちの生活と権利を守り、国民の医療・介護・福祉要求を実現するために、全国の仲間と連帯し全力を挙げて奮闘しましょう。

以上